

**日本貨物鉄道株式会社
第5回社債(一般担保付)(グリーンボンド)**

**レポーティング
(2026年5月末時点)**

日本貨物鉄道第5回社債（一般担保付）（グリーンボンド） プロジェクト概要及び資金充当にかかるレポーティング（2026年5月末時点）

適格事業の概要		資金充当状況
 電気機関車の新製 電気機関車を新製し、老朽化した旧形式機関車の取替を行うことで、安定輸送を確保するとともに貨物輸送サービスの向上を図ります。	クリーン輸送	全額既充当: 51億円 ※全額リファイナンス
 線路設備の老朽取替 老朽化した線路設備や構造物等の更新・延命化を図ることで、保安度向上及び安定輸送の確保し、かつメンテナンスコストの削減を図ります。	クリーン輸送	全額期充当: 18億円
合計		全額既充当: 70億円

日本貨物鉄道第5回社債(一般担保付)(グリーンボンド) 環境改善効果にかかるレポーティング(2026年5月末時点)

適格事業の概要	インパクト
電気機関車の新製 線路設備の老朽取替 (クリーン輸送)	・貨物輸送量1トンキロ当たりのCO2排出量 : 19g-CO2/トンkm(2024年度)

CO2排出量は営業用トラックの

約10分の1

貨物鉄道輸送のCO2 排出原単位は
営業用トラックの約10分の1
(2024年度)であり、環境にやさ
しい輸送機関として注目されている

貨物鉄道輸送のCO2削減効果は

3,333,000t-co2/年

貨物鉄道輸送が担う年間の輸送トンキロ
をすべて営業用トラックで運んだ場合と
比較して、3,333,000t-CO2/年(2023
年度実績)の削減効果がある

スギ林のCO2吸収効果に換算(※)すると

東京都の約1.71倍の面積
(約375,000ha)

※3,333,000t-CO2 の排出削減(CO2 固定吸収)を
植林活動を通じて行う場合の森林面積。
林野庁ホームページより、40 年生のスギが1haに
1000本立木していると仮定して計算

【ご参考】日本貨物鉄道第5回社債（一般担保付）（グリーンボンド）発行概要

社債名称	日本貨物鉄道株式会社 第5回社債（一般担保付） （グリーンボンド）
発行年限	10年
発行金額	70億円
利率	年 1.228%
払込日	2024年6月13日
債券格付	AA-（R&I）、AA（JCR）
主幹事証券会社	みずほ証券、野村證券、 三菱UFJモルガン・スタンレー証券、大和証券
資金使途	輸送関連設備等の更新・新製（鉄道施設の老朽取替）にかかる設備資金、ならびに電気機関車の更新・新製にかかるリファイナンス資金
グリーンボンドとしての適格性	グリーンボンド・フレームワークに対する第三者評価としてJCRより「JCRグリーンボンド・フレームワーク評価」最上位評価である「Green 1（F）」の評価を取得